

「支部長室」

地球上の温暖化は世界中で色々な災害を引き起こしています。日本でも今までは四季がはっきりしていましたが、最近では、四季の替わり目が分からなくなってきました。

去る4月29日の全教一斉ひのきしんデーは、素晴らしい好天に恵まれて、暖かな日差しの中でのひのきしんデーとなりました。舎人公園のゴミ拾いや草むしりに201名の方が勇んで努めました。

教内の行事は、6月1日には浅草大教会を会場に「ようばく一斉活動日」が開催され。続いては6月9日には、事務指導が行われ、7月27日から8月3日までは「こどもおちばがえり」が行われますがその頃は、また猛暑に見舞われる事も予想しなければなりません。

皆様方にはお身体に充分に気を付けて体調を崩さない様にお過ごし下さい。

尚、本年も8月は猛暑を予想して、支部幹事会例会は「休会」とさせていただきますので御了承下さいますようお願い致します。尚、連絡報あだちも休刊とさせていただきます。

＊ 支部長 須賀 睦司 ＊

「教区ひのきしん当番」

5月19日(月) 1名 13組(栄 立)
6月19日(木) 1名 1組(本 住)
7月19日(土) 1名 2組(帝 徳)
8月19日(火) 1名 3組(川 中)
9月17日(水) 霊舎1名 4組(本小台)
9月19日(金) 1名 5組(大 信)
10月19日(日) 1名 6組(浅 草)
11月19日(水) 1名 7組(秩 東)

◎ 上記の通りお務め願います。

「全教一斉ひのきしんデー開催」

桜の花も終わり、新緑の季節を迎えました。去る4月29日(昭和の日・休日)

恒例の全教一斉ひのきしんデーが舎人公園を会場に開催されました。

当日は朝から素晴らしい好天に恵まれて、朝9時からのひのきしん開始に向け続々と参加者が集まり、日々健康感謝の喜びに満ちた事が行動にあらわれ、総勢201名の参加者が、笑顔で黙々とひのきしんに励む姿に、感動しました。

参加者一同がおちばの理を十分に頂き有意義な時間を満喫できた事と思わせて頂きました。また来年の開催が楽しみです。 投稿 本理昭 石田幹二

「青年会活動報告」

「布教部×青年会にをいがけ」

去る4月9日、支部例会後の13:30より北千住駅にて、路傍講演並びにリーフレット配りをさせて頂きました。

参加者・青年会員1名、婦人会員1名、少年会員1名、青年会OB1名、合計4名でした。

「献血呼び込みひのきしん」

去る4月29日、全教一斉ひのきしんデーの終了後、北千住駅にて献血呼び込みひのきしんをさせて頂きました。

「結果報告」

献血申込者数 72名中、献血者 65名

	200ml	400ml	合計
A型	2名	23名	25名
B型	0名	22名	22名
O型	0名	12名	12名
AB型	0名	6名	6名
合計	2名	63名	65名

立教188年 東京教区、厚生部
「障害者おつとめまなび団参募集」



記

日時・5月24日～26日

募集・会員の皆様、教友の皆様、ご高齢の方、要介護の方、どうぞ参加して下さい。

☆ 高速SAトイレ、食事、お風呂すべて介護者が付きます。車椅子の準備も有ります。

参加費・¥ 15,000-(宿泊、食事、親睦会)
(奈良観光は別途 ¥2,000-、25日)

宿泊・牛込詰所

日程・24日(土)須鴨駅前 9時30分出発
乗り物(マイクロバス)

25日(日)午前、障害者おつとめまなび参加。

*教庁4階講堂 9:30 受付 10:00開始。

*講師・新田恒夫先生(蘇我町分教会長、NPO法人スペース海代表)

★午後・奈良観光(東大寺)
昼食(柿の葉寿司)

26日(月)月次祭参拝、帰路。

❖持ち物・ハッピー、白足袋、他。

申し込みは、各支部厚生部員または、
教務支庁にFAX 03-3917-1441
担当者・厚生部 牧野道治
090-1401-9297

※ 詳細は各教会配布済みの案内チラシ
をご覧ください。

FAX (申込用紙付きです)

「夜巡り布教」 2025年4月9日

参加者・藤波芳雄、藤波つるえ、渡辺茂
中新井哲、鶴巻房雄。以上 5名

「声掛けした外国人」

デンマーク、インド、スペイン、イスラエル、カナダ、イギリス、フランス。

春爛漫の季節、桜の花が満開の爽やかなアメ横は、相変わらず多くの外国人で賑わっていました。

最初に声を掛けたのは、デンマークから旅行に来られた2人の男性の方でした。明るく陽気な感じの良いお二人で、鈴鹿サーキットに行ってきたとの事でした。デンマークの方は初めてだと思えます。更にスペインのカップルの方に声を掛けました。仲の良い初々しい感じのするお二人さんで、渡辺さんが新婚旅行ですか?と尋ねると、お二人ともニコッと笑って、イエスと答えていました。

新婚旅行に日本を選ぶ外国人は結構いる居るものですね。

イスラエルの方は家族の方でした。更にカナダのご一行さんに声を掛け、渡辺さんが英語で色々とお話をさせて頂き、最後に私が我々は皆兄弟と、たどたどしい英語で問いかけ、握手を求めると、皆さんニコッと笑って答えてくれました。

そして一人の女性が私達も同じ考えですと言って下さり、嬉しくなりました。

この一列兄弟と云う教えは宗派や民族の壁を越えて、共感を促す素晴らしい教えだと再認識させて頂く、毎回の夜巡りです。

今月も支部の仲間の先生方と、楽しくにをいがけをさせて頂き勇まさせて頂きました、有難うございました。

川中分教会 鶴巻 房雄